

伝承と未来への希望

姫路中央LCが 姫路中央LCらしくあるために 2022



2022年4月27日

CN58年度 伝承特別委員会

目次

ごあいさつ

第59代 会長 池本 史朗 1

伝承特別委員会 委員長 小原 義弘 2

姫路中央ライオンズクラブ事業年表 4

過去に行われた事業のあらまし 16

メンバー〈寄稿〉 21

あとがき 32

2021—2022

335-D地区 1R. 2Z.

姫路中央ライオンズクラブ

CN58 第59代 会長 池本 史朗



伝承特別委員会設置への想い

我がクラブは2年後に60周年を迎えます。

人間でいうと丁度還暦になります。

充実した時期に入り、これからますますの躍進を目指す中で、変革していく事がとても大切な事と思います。

今後、何かにぶつかった時、分からなくなった時には基本に戻るという事を大切にしながら、変革をする必要性を強く感じます。

しかし、何も知らず、分からずのままで変わるのはただの「型くずれ」であり、形無しと言わざるを得ません。

私たちは、ただ単に変わるのではなく、姫路中央ライオンズクラブの基本を見つめ、学んで知り、分かり、そのうえで変化すべきです。

そこから変わることを、「型破り」と呼ぶのです。

現在、寂しい事に我がクラブにチャータメンバーはおられません。

しかし、歴代の会長経験者の方々を中心に今までの事業やクラブの詳細、記念誌には載っていない事、載せられなかった事を詳細に記録しておく事が大切と思い、この伝承特別委員会を設置いたしました。今般、その集大成と言える「伝承特別委員会冊子」が完成する運びとなり皆様にお届けする日を楽しみにしております。

この事業は、これで終わりではなく、70周年、100周年と姫路中央ライオンズクラブが、姫路中央ライオンズクラブらしくあるために、記念誌には載せきれない事や、当事者の想いなどを加筆して伝承し、クラブとともに成長させていっていただきたいと強く願うものです。

会員全員で協力し、伝承していきましょう。

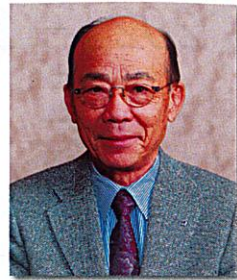
最後になりますが、私の想いを形にいただいた「伝承特別委員会」の皆様に心より御礼を申し上げます。

2021 - 2022

335-D地区 1R. 2Z.

姫路中央ライオンズクラブ

伝承特別委員会 委員長 小原 義弘



初めに

姫路中央ライオンズクラブCN58期は前年から続く新型コロナに翻弄され、北京オリンピックの直後にロシアがウクライナに武力侵略を行うなど、激動の1年となりました。

我々ライオンズクラブも必然的にその荒波の影響を受けることになり、クラブ運営も時代に合わせた改革、進化が求められます。そのような中、基本を押さえず進化を求めても時代に流された単なる変化にしかありません。

過去の事業や運営に対する時々のメンバーの「想い」を再認識したうえで、堂々と進化することを目指して「伝承特別委員会」提言を行います。

なお、本提言は不足部分の補填や新たな歴史の追加を行いつつ、クラブとともに成長していくものとして、次年度以降はMC委員会の中に担当者を置いて管理されることを望みます。

伝承と未来への希望

伝えてゆきたい事柄は、数えきれないほどあります。

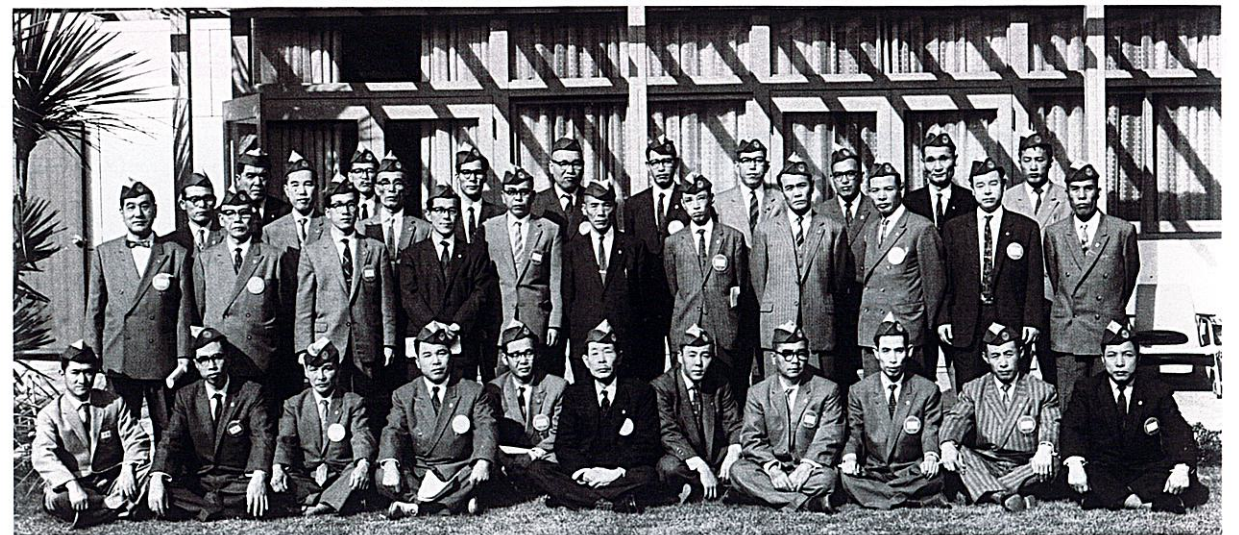
伝承の目的は次世代を担うメンバーが将来のクラブの在り方、目指すもの、をしつかりと認識し、より立派なクラブとして社会貢献ができるようにクラブの活性化を図ることです。

私たち姫路中央ライオンズクラブは地区内でも最大に近いメンバー数と、それなりに勢力のあるクラブであり、これまでの歴史を振り返っても素晴らしい内容ばかりです。過去は十分に輝いていたことに疑念の余地はありません。

では、未来への希望はどうでしょう??

昨今、社会情勢や世相の変化、価値観の変化によりライオンズクラブという奉仕団体が停滞の傾向であることを視野に入れ、時々のメンバーの熱き想いを知ったうえで改革・進化を模索し、50年後、100年後も堂々と「姫路中央ライオンズクラブ」でありたいと願います。

姫路中央ライオンズクラブの未来への希望の礎として「伝承」します。



結成式



チャーターナイト25周年



結成50周年

姫路中央ライオンズクラブ事業年表

	〈会長名〉	〈主な事業・会長テーマ〉	〈メンバー数〉
結成	L. 内田松蔵	姫路市へ救急車 1 台寄贈 他 11 件 幹事が L. 藤田泰助であった。 「人の和」	53 名
CN1	L. 西村隆夫	姫路警察署に移動派出所特殊装備車寄贈 城南小学校へ補聴器寄贈 他 「人の和」	56 名
CN2	L. 和田繁次	平和論文コンテスト 無料血液型検査 他 「例会を楽しく 愉快地に」	61 名
CN3	L. 小野雅常	交通安全展開催 姫路市へ救急車 1 台寄贈 姫路署へ単車 1 台寄贈 他 「反省と飛躍の年」	65 名
CN4	L. 藤田泰助	大手前通りグリーンベルト基金寄贈 作文コンテスト 他 「クラブ内部の充実」	66 名
CN5	L. 玉田一男	大手前公園に花壇寄贈 献血奉仕 増位山自然公園起工式 作文コンテスト 「人間性を加味した長期的な和」	70 名
CN5 周年迄クラブはチームワークを一番大切なこととして事業に取り組んで来た様に思われる。また、クラブ会員総意の元、長期展望の考えを基本にクラブの考えを決定づける増位山関係の事業に取り組む事になった様である。現在もその考えが根付いている。			
CN6	L. 毛利 勇	増位山整備及び山開き 他 29 件 「第一例会は厳肅に 第二例会はユーモアに」 L. 山本 孜 入会	71 名
CN7	L. 柴田幸雄	姫路市消防局救急車 1 台寄贈 増位山関係 「クラブ内の融和・親睦を計り魅力ある例会とする」	80 名
CN8	L. 富永陽一郎	増位山継続事業 他 40 件 「自らの良きところを また友に贈る」	84 名

5 周年記念事業

増位山の開発計画に着手

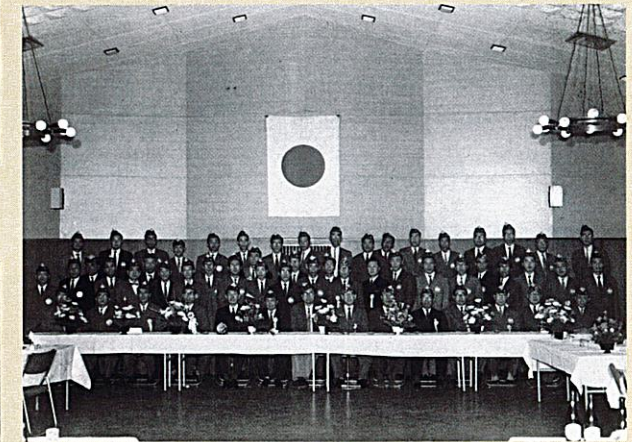
チャーターナイト



1963年4月19日 姫路厚生会館に於いて認証伝達式がとり行われた。

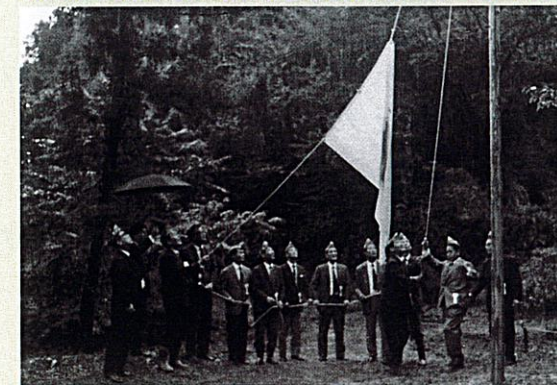


53名のライオンが雄叫びをあげた!!

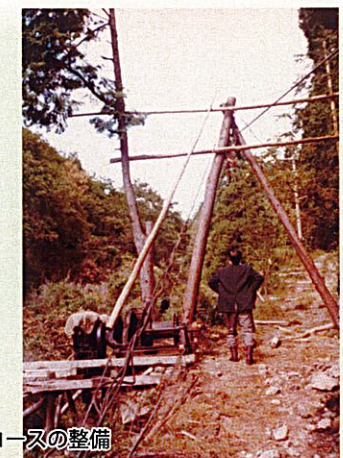


増位山自然公園関連事業

CN5周年に実行計画を立て、5カ年計画で自然公園の開発を行い CN6 周年で山開きを行った



増位山起工式



ハイキングコースの整備



自衛隊さんの協力で
ソーメン滝への整備



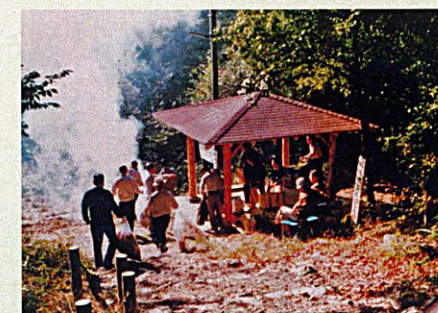
蛇ヶ池の整備

	〈会長名〉	〈主な事業・会長テーマ〉	〈メンバー数〉
CN9	L. 永城清太郎	増位山関連事業 他 32 件 「初心に還り、反省を加えつつ誠実に」	86 名
CN10	L. 北風利夫	市民プール周辺植樹 増位山関連 他 「会員相互の親睦による楽しいクラブ運営」	91 名
CN11	L. 柏原昭二	増位山 白国梅林植樹 城南小学校へレクチャーテーブル寄贈 他 21 件 「努力と和」「友愛と寛容」	91 名
CN12	L. 寺尾義正	増位山 あずまや建設 姫路市消防局庁舎へ消防広報寄贈 「うちを固める」	93 名
CN13	L. 坪田真徳	神戸新聞へ暴走族防止のキャンペーン広告 人工呼吸訓練用人形寄贈 「友情と前進」	94 名
CN14	L. 堀尾保治	増位山 あずまや建設 救急車用空気呼吸器予備ボンベ (10 本) 『We Serve』の心を心として L. 小林 寛 入会	97 名
CN15	L. 崎谷文男	15 周年事業 姫路城内濠柳植樹 増位山自然公園屋外ステージ設置 「健康で楽しい例会を」「LIONS の原点を忘れず」	97 名
CN16	L. 堀江秀夫	ベトナム難民救済援助 増位山ベンチ取替 看板設置 姫路聾学校へ補聴器・ワイアレスマイク寄贈 他 「対話で友愛を深め楽しい例会」「初心にかえり心の奉仕を」	97 名
CN17	L. 田村彦二	交通安全看板設置 視聴覚センターへスライド作成機寄贈 交通安全教室用資器寄贈 姫路婦人防火クラブ団旗一式寄贈 「事業の繁栄と融和で対話の明るい社会」	97 名
CN18	L. 竹内 弘	増位山梅林植樹 視聴覚センターへビデオシステム寄贈 交通事故防止標語歩道橋取付 他 「寛大な度量とリッチなインテリジェンス」	98 名
CN19	L. 川崎健一	姫路消防署へマイクロバス寄贈 他2 「クラブ会員の融和」 L. 児島 猛 入会	98 名

増位山自然公園関連事業



山開き



あずまやの建設



今もこの一大事業は中央ライオンズクラブの歴史として繋がっている

姫路城周辺事業



CN15 濠に柳植樹



CN28 千姫小径植栽



CN29 あずまやの建設

CN26 CN27
南部土壘植栽

増位山入口に公園を完成させて開発計画を終了する

20周年記念事業

市川右岸の桜並木を造る計画に着手

25周年記念事業

この後、現在(CN58)に至る迄公園の清掃・整備を毎年行っている

右岸道路の西側に桜植樹

30周年記念事業

	〈会長名〉	〈主な事業・会長テーマ〉	〈メンバー数〉
CN20	L. 石原正夫	市川右岸緑化事業(桜並木植樹) 婦人防火クラブ団旗一式寄贈 他19件 「よい仕事・よい健康でよい奉仕をしよう」	96名
CN21	L. 野村克己	市営バス全車両に傘及び傘立てを寄贈 HIMEJI POP FESTIVAL に養護施設生徒及び交通遺児招待 他 「融和と強調」	97名
CN22	L. 田村茂雄	市川右岸に桜植栽 姫路市立科学館へ万華鏡他機器の寄贈 婦人防火クラブ団旗20本寄贈 市バス「善意の傘」寄贈 他 「友好と調和」	97名
CN23	L. 守分圭一	自然観察の森 螢の生息地造成事業 国際姉妹提携記念植樹 姫路聾学校へ野球ユニフォーム寄贈 他 「小さな奉仕も愛と和で」	98名
CN24	L. 東 保	姫路中央体育館「へい かもん」彫刻寄贈 他31件 「愛と融和」	101名
CN25	L. 西本 巖	25周年記念事業 ジェームス三木講演会 増位山自然公園道標モニュメント建設 他 「正しくそして円満に」	101名
CN26	L. 田中友三郎	姫路城南部土塁植栽計画 他28件 「ふれあいは深く、知性は高く」	100名
CN27	L. 植村 實	姫路城南部土塁植栽 明治大学マンドリンクラブコンサート 他 「美しい汗と心で、地域社会に」	102名
CN28	L. 山本 孜	千姫小径植栽 インドシナ難民救済 小室豊允5回講演 他 「SHIFT FOR THE FUTURE」	98名
CN29	L. 黒岩哲也	千姫小径あずまや建設 モンゴル救援物資 シャロームへ録音機寄贈 増位山自然公園園遊会 他 「美しい笑顔と心で楽しく明るい町づくり」	101名
CN30	L. 高原 茂	市川右岸植栽 増位山公園整備 千姫小径植栽 安田祥子チャリティーコンサート 他 「見つめよう原点 深めよう相互理解」	97名

市川右岸 桜植樹関連事業



CN20 での植樹

市川の土手に
桜並木を造ろう!!

CN45 周年見事に咲き誇った桜
そしてボンボリの設置



思いが実りました



CN30 周年は西側にも植樹



地域の皆さんとの交流



年に一度、河川の清掃奉仕

鶯歌ライオンズクラブ姉妹提携

1987年国際親善の歴史が始まりました



CN50 鶯歌ライオンズクラブ訪問



CN23 シロトピア公園で記念植樹

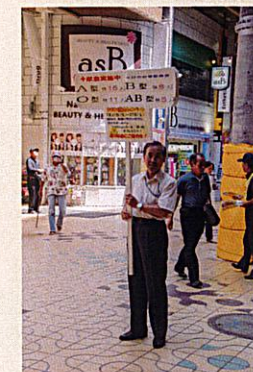
	〈会長名〉	〈主な事業・会長テーマ〉	〈メンバー数〉
CN31	L. 鋤田隆司	阪神淡路大震災被災者「ウエルカム姫路潮干狩大会」 97名 市川右岸植栽 他 「青少年の夢を作ろう」	
CN32	L. 伊東輝久	増位山スプリングウォークラリー 若林正人講演 YE 冬季学生受入れ 「健康・知性・友愛」	
CN33	L. 谷口康紀	増位山自然公園植栽 山火事防止看板設置 鶯歌獅子会姉妹提携 10 周年植樹 「魅力ある個性」	
CN34	L. 藤原哲夫	増位山清掃・整備 '98 春 夢 希望 感動コンサート 「品性高く地道な奉仕」	
CN35	L. 川口邦輝	市川右岸植栽 ひまわり献血キャンペーン 循環社会へのアプローチ講習会 「21世紀に繋げよう やさしい環境を」	
CN36	L. 新宅元之	京見山植樹 ひまわり献血キャンペーン 台湾大震災義援金 「ジャパンフローラ 2000」車椅子寄贈 「見なおそう、そして、進めよう 和の21」	
CN37	L. 児島 猛	ひまわり献血キャンペーン 自衛隊姫路駐屯地へ三面電子時計塔寄贈 「和 そして 輪・信頼と行動」	
CN38	L. 小林 寛	ひまわり献血キャンペーン 増位山随願寺庫裏落慶記念植樹 「温故知新」	
CN39	L. 牧井雅彦	ひまわり献血キャンペーン 増位山宝生池に鯉放流 姫路スターLCクラブ結成スポンサー ミャンマー幼少年学舎着工 「小さな気配り、声かけあおう」	
CN40	L. 松原充甫	ミャンマー幼少年学舎建設 夢前川右岸桜植樹 市川右岸桜植樹 はりまでギネス開催 「豊かな心、そして明日へ」	
CN41	L. 堀江 脩	ひまわり献血キャンペーン パシフィックショーケース ジャズコンサート 「原点からの再出発」	

献血啓蒙活動

CN3年 献血無料血液検査



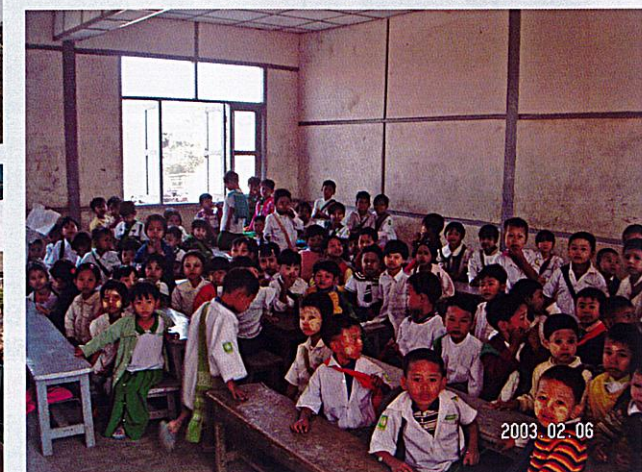
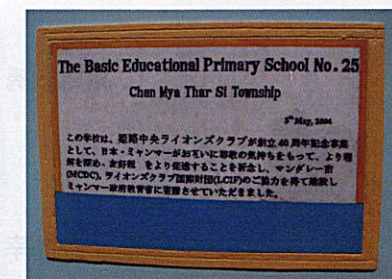
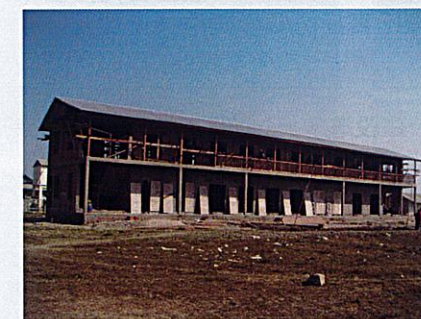
姫路中央ライオンズクラブの
中核事業の一つです



CN35 ひまわり献血パレード

海外支援

CN40 ミャンマーに幼少年学舎の建設



子ども達に教育の場を…この精神は今も繋がっています

〈会長名〉 〈主な事業・会長テーマ〉

- | | | |
|------|---------|---|
| CN42 | L. 尾上和幸 | ひまわり献血キャンペーン 奨学生受入れ
市川さくら祭り 市川右岸清掃奉仕
「無から有へのライオンズ活動」 |
| CN43 | L. 本田浩三 | 姫路中央ライオンズクラブ杯中学生柔道大会
市川右岸さくら祭り 清掃奉仕
「継承と変革、一人一人が主役です」 |
| CN44 | L. 菅尾英文 | 姫路中央ライオンズクラブ杯中学生柔道大会
市川右岸さくら祭り 清掃奉仕 他
「熟考 一魅力あるクラブへ」 |
| CN45 | L. 小原義弘 | 黒田官兵衛顕彰碑建立 市川右岸桜並木にボンボリ設置
増位山案内看板設置清掃奉仕 中学生柔道大会に優勝旗寄贈
姫路陸上自衛隊へ白鷺太鼓に協賛 ミャンマー幼少年舎に文具寄贈
「再現 そして進化する」 |
| CN46 | L. 大森 茂 | ひまわり献血キャンペーン 増位山清掃奉仕
婦人防火クラブ団旗寄贈 姫路中央ライオンズクラブ杯中学生柔道大会
姫路市へ介助用電動イスを寄贈 市川右岸・黒田官兵衛顕彰碑清掃奉仕
「輝く伝統 創意と工夫でさらなる躍進」 |
| CN47 | L. 作原正博 | ひまわり献血キャンペーン 東日本大震災義援金
市川右岸・黒田官兵衛顕彰碑清掃奉仕 増位山清掃奉仕
姫路中央ライオンズクラブ杯中学生柔道大会
「英知を結集し、進化する奉仕へ」 |
| CN48 | L. 高尾政秀 | 姫路中央LC杯中学生柔道大会 福島・宮城の中学生を招待
ひまわり献血キャンペーン 陸上自衛隊広報支援
市川右岸・黒田官兵衛顕彰碑清掃奉仕
「明るく、元気に、精いっぱい Let's "We serve"」 |
| CN49 | L. 北野輝幸 | フィリピン学校建設準備(CN49-CN50 記念事業)
東日本大震災支援 東北の物産販売
増位山・市川右岸清掃奉仕 ひまわり献血キャンペーン
「Friend ship 広げよう、ともに笑顔で」 |
| CN50 | L. 曾根芳明 | 50周年記念事業 姫路駅前周辺案内サイン設置事業
フィリピンティンバオ小学校校舎建設事業 市川右岸桜植樹事業
黒田官兵衛顕彰碑案内サイン設置事業 姫路市立広畑小学校二宮尊徳像設置事業
「振り返ろうライオンズ みなおそう奉仕の原点を!!」 |
| CN51 | L. 廣田晃一 | ミャンマーアウンヤ幼少年学舎へ文房具寄贈
フィリピンティンバオ小学校ミニバック寄贈
市川右岸階段手摺寄贈 会津坂下中学生支援事業
「常に愛と笑顔と敬意を持ち、全員参画で3つの100を目指しましょう!!」 |
| CN52 | L. 松岡節芳 | 会津坂下中学生支援事業 しらさぎ柔道大会参加
子ども音楽祭 駅前献血活動&清掃奉仕
ひまわり献血キャンペーン街頭呼びかけ
「心をひとつに!~信頼と寛容で未来を創造する~」 |

黒田官兵衛顕彰碑案内サイン



姫路駅周辺案内サイン設置



フィリピンティンバオ小学校 校舎建設



50周年を記念して次の時代に繋がる事業を行いました。

子ども音楽祭



姫路市立広畑小学校 二宮尊徳像設置



市川右岸桜植樹



献血啓蒙活動



	〈会長名〉	〈主な事業・会長テーマ〉
CN53	L. 飯塚勝三	ミャンマーアウンタヤ幼少学舎トイレ新築事業 姫路カップ器械体操大会支援 増位山清掃奉仕 ひまわり献血キャンペーン街頭呼びかけ 市川右岸清掃 「有難う!〜感謝の気持ちで奉仕する〜」
CN54	L. 塚本 栄	高校生春休み献血センター見学ツアー 姫路カップ器械体操大会支援 市川右岸清掃 ライオンズクエストワークショップ 増位山清掃奉仕 「ライオンズの基本を考えよう・みなおそう価値ある奉仕」
CN55	L. 本庄正人	CN55 周年記念事業 官兵衛神社社標寄贈 フィリピンティンバオ小学校特別事業 増位山清掃事業 二葉園・姫路中央 LC 杯ボウリング大会 「笑ー smile ー顔」
CN56	L. 古谷直也	フィリピン事業 ランキオ小学校水道設備 増位山随願寺あずまや修理 「奉仕事業を基軸に メンバーの結束を!」
CN57	L. 東郷 進	夏休みこども食堂 春休みこども食堂 二葉園姫路城清掃&食事会 「隣人へ奉仕しよう Serve our neighbors」
CN58	L. 池本史朗	増位山鳥獣柵 姫路自衛隊 70 周年石碑寄贈 「知恩・感恩・報恩 そして恩送り〜チョコチョコッと奉仕〜」
CN59	L. 大川 淳	
CN60		



CN58 増位山清掃奉仕

ミャンマー幼少学舎トイレ新築事業



姫路カップ器械体操大会支援



高校生献血センター 見学ツアー



フィリピン小学校特別事業



官兵衛神社社標寄贈



子ども食堂



CN58 市川右岸清掃奉仕

過去に行われた事業のあらまし

1. 増位山自然公園整備事業

姫路に青少年が楽しめる自然公園を作りたいとの思いからこの様な壮大な計画が実施されました。CN5周年に着手、CN6周年に山開きを行い、CN25周年の公園道標の完成まで20年間に渡って総合計画を立て整備事業に携わってきました。



ハイキングコースの整備、ベンチの設置、山彦公園の整備、あずまの建設、案内看板、公園トイレの建設、梅林の植栽等、現在の増位山のハイキングコース、山上公園の多くは、中央ライオンズクラブの事業で整備されました。

CN25周年の公園完成後も、山彦公園でのコンサートや西尾根ハイキングコースでのウォークラリーなど、増位山でのイベントを行っています。

その後も現在に至るまで、毎年、秋の例会で姫路陸上自衛隊と白国自治会の方々の協力と姫路市からも参加で清掃奉仕を行っています。姫路中央ライオンズクラブの事業の礎となった事業です。

2. 城周辺植樹整備

当初CN4周年に大手前通りにグリーンベルト建設に着手、CN5周年にもグリーンベルト建設に協力しCN15周年には城堀端に柳の植栽、現在、柳は大木に育ち、数本が大手門手前、堀端に現存しています。

CN23周年に鶯歌ライオンズクラブとの姉妹提携記念として城北のシロトピア公園に記念植樹をしており、これも現存しております。

CN26周年記念にお城、南部土塁に「さるすべり」の植栽計画を立て、CN27年までの2年間で植栽計画を完成させ現在、真夏には見事な花を咲かせています。

CN28周年には、城西側の千姫小径に植栽計画を立て、もみじや雪やなぎ等、低木の植栽をし、記念碑に千姫の歌碑を建立しました。

CN29周年、千姫小径にあずまの建設をしました、その後、姫路城が世界遺産に認定されたことからお城に係る



る奉仕活動は制約が厳しく、事業として行われていません。あずまは、建設10数年後、不審火によって消失し基礎のみが残っています。一度、千姫小径を歩いてみて下さい。当時の事業の姿が多く見られて、すがすがしい思いがします。

3. 市川河川敷の緑化事業

CN20周年の記念事業として、地区アクティビティ、スローガン「ひろげよう、郷土に緑と愛の輪を」と、兵庫県知事と地区ガバナーとの緑化についての対談の趣旨に賛同し、河川敷の緑化を姫路市と県土木の協力を得て、市川右岸の植栽に着手しました。この事業は青少年育成の観点からの事業であり、増位山事業と同じく青少年が健全に集える公園にしたいとの思いからスタートしました。

この年には桜80本、ヒラトツツジ1800本を植栽し、CN21年、CN22年の計3年間で右岸の土手側の植栽整備を終えています。

その後CN30周年には、桜並木の道路の向かい側にも桜の植栽をして、桜のトンネルを作ろうと計画をし、実施されました。そして現在の様な市内でも有数の桜の名所が完成しております。全長約800m、桜の大木、180本の大トンネルです。シーズンには地元自治会によるさくら祭りが開催され、出店とかバザーでにぎわい、子供たち、サークル活動、グループの演芸等が催されて地区の憩いの場所になっていることはご存じの通りです。



CN42の年にさくら祭りの開催に合わせて、CN45周年記念でボンボリを80基設置し地域の自治会に寄贈しました。

CN50にはさくらの補植、CN51には階段手摺の設置を行うなど、折に触れて事業を行い、「市川を美しく」のスローガンのもと毎年3月初旬の例会で清掃奉仕を行っています。

4. 陸上自衛隊 姫路駐屯地との交流と支援

陸上自衛隊との関係は増位山の山開き頃(CN6周年)からの交流となります。

CN29周年には増位山やまびこ公園で行った屋外コンサートに自衛隊の音楽隊においでいただきコンサートを盛り上げていただきました。



CN37周年の記念で姫路駐屯地入口に三面電子時計を寄贈しました。

CN41周年には米軍ジャズバンド、パシフィックショークスの演奏会が姫路文化センターで開催され満席大盛況となりましたが、これも陸上自衛隊姫路駐屯地との交流から繋が



た事業となります。

CN45周年記念式典には自衛隊の白鷺太鼓の修理に協賛し、当クラブの周年式典に、白鷺太鼓の演技の協力を得たりしています。また、CN58年度には姫路駐屯地創立70周年を祝し、記念碑「伝統の継承」を寄贈しました。

その他、増位山の清掃だけに限らず、毎年の行き来を行い、交流を続けています。

自衛隊の式典の際に着用されている「ハッピー」には我がクラブの名前が入っているのが誇らしく感じます。



5. 海外支援活動

CN39周年会長の縁故でCN40周年事業としてミャンマーの幼少年学舎「アウンタヤ小学校」の校舎の建設を行いました。当時ミャンマーは旧軍事政権でありましたが、それほど厳しくなくほぼ自由に渡航が出来ました。初めての海外での事業であり、クラブメンバーが何度もミャンマーを訪れ立派な学舎が完成し、軍の上層部の来賓を多く迎えて完成記念パーティーを行いました（LCIF資金活用事業）。

旧軍事政権から民主政権になり、アウンタヤ小学校の学校関係者からトイレが古くて使えなくなっているとの報告を受け、CN53周年の事業としてトイレ棟を新設して寄贈しました。

残念ながら現在はクーデターによる再度の軍事政権で連絡が途絶えた状況ですが、この学び舎で学んだ子供たちが新たな国づくりの中心となり頑張ってくれていることを願わずにはおれません。

CN49、50周年にL. 児島の協力でフィリピンの貧しい学校に学舎を建設寄贈しようと2年がかりの計画で立派な学舎が完成しました（LCIF資金活用事業）その後、CN55周年の記念事業として、フィリピンの



ティンバオ小学校の子供達に日本の文化と日本の現在の姿を紹介しようと日本から教師を派遣して800人の子供たち全員に7日間に渡って授業を行いました。ここで学んだ子供たちが、日本に対して、ライオンズクラブに対して「親しみ」を持ってくれることを願います。



6. 日本赤十字社に協力をして献血活動

CN35周年事業として、それまでクラブが赤十字に協力をして行ってきた献血運動をもっと大々的に行おうとひまわり献血キャンペーンを開始しました。姫路みゆき通りの駅前から大手前公園間を「お城の女王」と会長を先頭に自衛隊のブラスバンド演奏でメンバー全員が参加して大パレードを行い、献血の啓発を市民の方々に呼びかけました。そしてこの事業から、現在も献血キャンペーン活動は継続され、それだけにとどまらず、多数のメンバーの事業所においても支援をいただき、おそらく献血量は地区でも最上位ではないかと思っています。



7. 「ハリマでギネス」姫路の文化と産業を支援



りまを元気にする」という想いを具現化しました。

参加の企業、団体からは大変な反響で喜んで頂き、見学に来られた方々からも大好評を得られた実のあるイベントでした。

CN40周年記念として姫路大手前公園に播磨で活躍する企業と技能集団、パフォーマンスグループを紹介するブース、コーナーを設けて大展示会を開催しました。播磨の人と物づくりにスポットをあてることで、104の企業と5つの大学、高校、8組のパフォーマンスグループに参加いただき、情報の発信を行い、「は

8. 黒田官兵衛顕彰

CN45周年記念事業で、播磨の歴史上の人物を地元の方にもっと知ってもらいたいとの思いから、廣峯神社の近くで生まれ御着城主の家臣となり、後に豊臣秀吉の軍師として活躍した戦国時代の武将、黒田官兵衛を顕彰しようと、御着城跡の公園に顕彰碑を建立し、姫路市に寄贈しました。

偶然にも、翌々年にNHKの大河ドラマ、「軍師官兵衛」が放映され、全国から多くのファンが御着城を訪れ、顕彰碑を見ていただくことになりました。

CN55周年には官兵衛が幼少期を過ごした廣峯神社に官兵衛神社が建立されるのを期にクラブの記念事業として社標を建立、寄贈しました。



戦国時代、日本の歴史を大きく変えた播磨の武将、黒田官兵衛の偉大さを後世まで伝える事業として実施しました。

9. 青少年育成活動 社会福祉活動

CN42周年から3年間奨学生を受け入れ2名の高校生が立派に巣立ってゆきました。CN43周年から中学生柔道大会 姫路中央ライオンズクラブ杯を支援。この柔道大会には関西はもちろん、全国から強豪の学校が参加する有名な大会に発展しましたがCN48周年の大会で支援を終えることになりました。その最後になった大会に、前年の東日本大震災で被災された福島県と宮城県の中学生の選手各10名を喜多方LCの力をお借りして招待しました。



CN52周年、子ども音楽祭を支援し楽器の寄贈。



CN55周年、二葉園の生徒を招待してボーリング大会を皮切りに毎年、支援を続けている。子供達と一緒に汗を流し、楽しい食事会を行い、レクリエーションを行う。我々にとっても楽しく有意義なひとときです。

CN57周年には 夏休み子ども食堂を実施。地域の子供達に昼ご飯をみんなで一緒に食べようよ！と呼びかけ、期間中に延べ936名の子供とその父母に昼食を提供し、参加メンバーも、延べ316名とクラブの活性化にも大きく寄与しました。



メンバー〈寄稿〉

姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために2022

私はクラブ入会して34年になります。CN25周年の結成例会の時に入会式を行っていただき、当日20年代生まれの方々から歓迎会までして頂きました。その何か月か後に、増位山入口の公園整備の除幕式に立ち合いました。

CN35周年の時にはL川口会長のもと幹事をさせて頂き、日赤と合同でみゆき通りで、ひまわり献血キャンペーンを実施しました。そしてCN45周年には、会長として黒田官兵衛の顕彰碑を御着城跡に建立。市川右岸の桜にボンボリを提供、他、有意義な事業を行う事が出来ました。

CN55周年には本庄会長のもと、大会委員長として廣峯神社に官兵衛神社が出来、その社碑を建立、その碑名の揮毫までさせて頂いた事は感謝しかありません。感動する事をたくさんさせて頂きました。

以上の様な体験をふまえながら、多くの事を学びました。そして、自分を高め、現在に至っています。中央ライオンズクラブの皆さんのおかげです。

(事業として)

(1) 事業を行う場合は、理念・目的・継続・結果を十分に検討し将来に継がってゆく事業になるのが理想です。

- ・コンサート
- ・講演会
- ・こども食堂・増位山関係
- ・市川右岸関係
- ・姫路城関係
- ・柔道・体操・音楽関係
- ・黒田官兵衛関係
- ・姫路駅、姫路市施設関係
- ・福祉施設関係
- ・海外、フィリピン、ミャンマー学校関係
- ・台湾との友好関係

等、形のあるものと、ないものがありますが、いずれの事業も現在も何らかの形で関わりを持って続けているものばかりです。

事業に取り組む場合には過去の事業を参考にし、新しい発想を加えて実施してもらいたいものです。

(運営として)

- (1) まずクラブメンバーは、現在の70数名は理想だと思います。

メンバー確保の為に今行っている増強委員会のシステムをより一層内容を濃くして進めてもらいたいです。

新会員に対してライオンズクラブの事を知ってもらうのと退会者を防ぐためにもメンタープログラムを活用してもらいたいです。

(私が入会した頃にはその様なシステムはありませんでしたが、先輩方には、ずいぶん色々な事を教えて頂きました。)

- (2) クラブメンバーは・老壮青の年代だれしものが活躍出来るクラブとする。

指名委員になられた方は、あらゆる角度から人選を考え、クラブの事だけでなくメンバー全員の思いとを考えをくみ上げた方向にゆく事が大切です。

- (3) クラブ運営、事業は人の和を第一とし、我がクラブは設立時より人の和から事業展開をしてきています。

姫路中央ライオンズクラブが

姫路中央ライオンズクラブらしくあるために2022

私がCN34幹事・CN38会長・CN39地区年次大会委員長・CN54地区ガバナー並びに地区や複合地区の委員長を務めさせて頂いた時に感じた事柄です。

- 1・会長がしたいアクティビティーが出来るクラブに。

ライオンズクラブの大きな柱の一つがアクティビティーです。副会長時に構想を練り、いざという時に、縮小やストップがかからないようにしなければならなりません。但し、そのアクティビティーに欠陥や問題がある時は大いに議論を重ね、可能性を求めて結論を出し、その結論に対し全メンバーが従うべきです。でないと、会長並びに役員・委員長そしてメンバーのモチベーションは萎み、通年通りのおざなり

なアクティビティーしかできません。それではクラブライフが楽しくありません。また、周年行事のためにお金を残すことが慣例となっはなりません。大変だったけど、面白かった・良かったがクラブの活性化を促し、ひいては新会員の増強に繋がると思います。でなければ、ライオンズクラブの存在理由の三分の一がなくなります。成功しても失敗しても中央らしくあれば、次代の肥やしになるのではないのでしょうか。

- 2・クラブ内の人材を育てられるクラブに。

我がクラブは人材豊富だと言われていますが、現在少し枯渇気味のようです。もっともっと若いメンバーが役職に就いた方が我がクラブの活性化に繋がります。ややもすると、クラブ歴順や年齢順など、役職就任にあたり根拠のない基準が皆の心の中にあるようです。また、所謂年寄りの了解を得なければならぬといった思い込みもあるようです。しかし、

クラブにとって、この人と思う場合は大いに登用すべきです。特別な事由を除き、指名委員会の指名を受けた場合、二つ返事で受けるべきです。それが我がクラブの特性であり、流れでもあったのです。それは、肩書がその人を成長させ磨いてくれ、クラブ活性化を真剣に考えるからです。

加えて、クラブの活性化にはキャビネット役員に入ることです。組織の運営を知り、沢山の情報を得、各クラブの現状を知ったり、複合地区でよりグローバルな全体の流れを知ったりすることは、きっと我がクラブのより良い運営に役立つからです。そのためにも、若い人材を育てていかねばなりません。

これらはクラブ云々と同時に、自社の運営に大きく影響し、必ずプラスになることでしょう。

「姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために・2022」

事業

長期或いは中期計画事業を立案

増位山整備計画、南部土塁から千姫小径への植栽計画、柔道大会支援、体操大会支援など、姫路中央LCらしさを表現できる、考え方や理念をまとめ長期或いは中期計画を立てる。その中で、根本理念、目的、事業内容、事業計画、効果予想など、手法を含め伝えて行く。

通常年は長期或いは中期事業＋会長指導の事業

会長任期は1年、クラブは永遠。国際協会も長期事業をしていた、国際平和ポスター、YCE、サイトファースト、白い杖運動など。

事業費は公平に負担

一部の人の寄付に頼らない。

運営

定期的（7年～10年毎）にガバナーを出す

クラブの活力維持、運営手法の伝承。これはクラブ運営や事業所の運営にも参考になる。

地区役員に繰り返し同じ人を出さない、出来るだけ幹事経験者とか若い年齢層に出て頂く。

平等に役職を経験し、クラブ員全体の知識水準の向上を図る。現在の会員はどの役職でも対応可能。国際協会の役員、即ち地区の頂点のガバナーを輩出するための過程でもある。

広告を会員に求めない

運営費不足ならば会費を上げ、平等に負担する。

歴史に学ぶ

過去の会則、内規、計画書などは保管し、定期的に目を通し、その案件の出来た、あるいは変更になった時代背景やその趣旨を今一度知ってみる。その一部として古い入会基準を噛みしめる。

先人たちがこのクラブに入会するであろう人たちのレベルを考え作った指針は奥深いものがある。昔に戻せという事では決してない、念のため。

姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために・2022

最近のクラブ運営は、役員さんたちがよく頑張っておられます。また、よく考えた運営もされています。

しかし、一部会員の大きな声の力でクラブ運営が進められている感じがします。

① 伝承したい(すべき)項目

クラブの活動は全て必携と当クラブの歴史の経験に則って実施してきた。例会の進め方、委員会の開催、事業のコンセンサスと実行方法、予算の編成とその使い方等先輩たちから引き継いできた。よき伝統を今の社会情勢に合わせて継続的に改善して継承して行ってほしい。

② 貴方が伝承したいと思った理由

例会は楽しければそれで良い、委員会活動の役員任せ、例会やゴルフ時のドレスコード、言葉遣い、行動、協調精神などライオンズマンらしからぬところが見受けられるようになった。ライオンズクラブは酒を飲む会ではない。遊ぶ会でもない。それなりに勉強(民主主義・協調・寛容・奉仕)するところと考えている。

最近の会員は良く行動する人としらない人が見受けれる。会員の皆さんと良き中央ライオンズの歴史を共有したい。

会員の皆さんと事業に汗をかきたい。(私は高齢者でもう無理ですが)

③ 実際にあった事例 (あなたはどの立ち位置でそれを見たのか)

- ・ライオンズ必携を全く知らない会員が多い。
- ・クラブ活動が議論なしでされていると感じる。一部の会員の意見で方向づけされている。
- ・クラブの総意で決めなければならないことを、知らないところで決められている
- ・例会・委員会、事業などの場面でのライオンズマンとしての適切な行動が守られ

ていない。

- ・事業活動に参加者が少ない。役員任せ、担当委員会事業にも欠席が目立つ
- ・ライオンズクラブ内での営業は控えるべきであり、営業は別の場所すべきである。LINEを使つての営業は問題ではないのか。過去にこんな事例はなかった。
- ・他クラブへの忖度はある程度必要であるが、最近の行動は全くそれを欠いている。

「姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために・2022」

① 伝承してもらいたいこと

会員委員会のありかたとして、新会員の確保に責任を負わさないで推薦された人物の評価に重点を置くこと。そのために会員増強特別委員会を組織しクラブ全体で勧誘を勧める。

会員委員長は会員増強特別委員会の委員長を兼務したとしても、勧誘と評価を区別した動きをしなくてはならない。会長を経験した人はそれなりにクラブのあり方や人を見る目が養われているので、人物の評価を任せられることと、自身が会長の時に新会員の増強活動を行ってもらったのでそのお返しとしての動きもできるはずである。そこで、会員委員長は会長を終えた人（つまり前会長）が1年目会員委員として委員会に入り、3年目に会員委員長（現在は少し変っている）となる組織。

② その理由

この様にしてから会員数を維持できているから。

③ 実際にあった事例

CN40を終え多くの退会者が出て、会員数が半減してしまいました。その頃は会員委員会が会員の勧誘に責任を負わされていたので、会員委員長の引き受けを敬遠されていました。会員数の半減は会費の半減を意味し運営費が逼迫してしまい、クラブの活気も低下していきましましたので会員の増強が急務でした。だからと言って誰でもいいでは無く我がクラブに相応しい人に入会して頂けるように、会員委員会は評価選考に重点を置き、勧誘は

会員増強特別委員会を組織し会員増強は会員全員で行うようにしました。この様な体制づくりをCN42の会長として手がけました。以後このやりかたは継続され成功しています。

また姫路スターLCのエクステンションに携わった者として、姫路中央LCと同じクラブを結成しても意味が無いので、男女混成・少ない会費で労力奉仕をするクラブを目指しました。その意味からも逆に姫路中央LCは男性のみの高額な会費のクラブであり続けて頂きたい。時代に逆らうかもしれませんが、女性だけのクラブが存在する限り男性だけのクラブがあっても良いと考えます。

伝承すべき事柄

さてさて、先日の委員会では各発言者が担当された年度の発言を多くされていましたが、そうではなく、この先10～20年先、又は30年先を見据えての池本会長の思いと考え、私は「人」と発言させていただきました。おそらくこの先10～20年で姫路のライオンズクラブは減少していくものと思われます。

そのような中で中央ライオンズクラブとして存続させていくためには最低でも数十人以上のメンバーが必要だと思われます。事実 運営 事業には資金も必要ですし、他クラブへの発言力を増すためにも、ある程度の人数が必要だと思われます。そして、新会員には十二分の中央ライオンズマンとしての教育をすべきだと思います。

また、事業に関しても感動を残すのもいいですが、30～50年先を考えてみれば、教育を含めた人助け、また、型として残す方が印象に残ると思われます。（個人感）

そして、この先335D地区がA地区に吸収合併されるかも知れません。

そこで、最低限の人数を確保することへの伝承が必要だと思われます。

① 最低限の人数を集めて、姫路中央ライオンズマンとしての教育をする。

② とにかく数十名がいないとクラブ運営、事業、キャビネット運営が難しいと思われる。20名前後のクラブでは何もできない(お金 頭数の関係で)

また、他のクラブへの発言力など

- ③ 他に、2リジョンでクラブ消滅、1.2.3.4リジョンでも消滅、合併危機があったと記憶しているため。要は、ウィサーブで・・・我々は奉仕する・・・ことを中心活動していくためには、ある程度教育された人数が必要であると思われます。
- また、仕事に関しては、個人的にはおおいに紹介、取引、情報提供、売買はいいことだと思いますが、クラブ内ではあくまでも奉仕団体ですので勘違いのないようお願いしたいものです。

追記

教育者は元ガバナーか、60歳代がいいですね。70歳代になると私みたいに訳の分からないボケたことを言い出すし、第一 考えが古いです。

元ガバナー様は良く勉強されて来られてますから大丈夫です。

ライオンズクラブのアクティビティを行う上で思うこと (過去の事例から)

姫路中央ライオンズクラブでは、各年度の会長ならびにメンバーの皆さんが真剣に検討の上アクティビティを実施され、今日の伝統が作り上げられています。

これまでのアクティビティには、有形・無形のものが数多くありますが、有形のアクティビティを行う上で過去の事例から考えていただきたいことがあります。

20周年と30周年のアクティビティで、姫路市の市川橋から小川橋にかけて市川右岸の道路の両側に延々500mほどに桜の植樹事業が行われています。

30年経った今では見事な桜のトンネルを形成し、桜の開花時には河川敷で地域の連合自治会による桜祭りのイベントが毎年開催され、大勢の人で賑わっています。(この2年はコロナ禍で中止されておりますが)

45周年のアクティビティで桜並木の間にぼんぼりが設置されました。その数年後にこのぼんぼりを地域の連合自治会に寄付し、以後ぼんぼりは連合自治会にお任せすることになりましたが、桜の開花にさらに華を添えるぼんぼりの活用は十分でないように思います。

引き渡すときぼんぼりの活用を地域とよく話をし、引き渡した後も何らかの形で関与することが必要ではなかったかと思います。

毎年、市民の皆さんは市川右岸の桜の開花を待ち望んでおられます。

アクティビティが地域に喜ばれ、地域社会とともに歩んでいくことにより、アクティビティの素晴らしい伝統が守られるのではないのでしょうか。

残しておきたい伝承

早期退会せずに現在まで継続できたのは入会当初からあった同好会・干支の会、ゴルフの会、また、その後にできた20年会に参加することで多くの方々との出会いがあったことも大きいと思います。また、今はなくなった木曜会の存在も大きなものであったと思います。

いま振り返ると入会当初の例会は厳粛に行われていたと思われます。

姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために 2022

① 伝承したい項目

伝承特別委員会として、今まで先輩諸氏方々が積み重ねてこられた事業すべてが伝承されるべきことであり、また、記憶に残るものだと考えます。

わたしが当クラブに入会以前に事業として建てられた「千姫小道の東屋」(現在は消失)姫路城土塁の百日紅の植栽、市川右岸の桜並木等々・・・

まだまだ数えると多くの事業があります。

ただ、箱物等に残りますがそれ以外のものは時間とともに忘れ去られ記憶からも消えていきます。

現在 在籍されている元会長全員に、その当時にされた事業・なぜそれをされたのかなど深い想いをレポートとして残してもらうのがいいのではない

いでしょうか。

② 伝承したいと思った理由

人それぞれ捉え方は異なりますが、私自身が伝承したいと思った理由は感銘・感動を受けたからです。

③ あなたはどの立場でそれを見ましたか？

何事においてもその当時の会長の思い、もしくは理事会、各委員会ですべての事業が決まるので、わたしは1クラブ員の立場で見させていただいています。

伝承特別委員会「姫路中央LCが姫路中央LCらしくあるために・2022」

① 伝承したい項目

クラブ創立55周年記念事業

フィリピン ティンバオ小学校における日本紹介授業

② 貴方が伝承したいと思った理由

それまでの箱もの事業から、ソフト的なものにシフトしたはじめての海外事業で、過去の実績が繋がったからこそ実現できた事業で とても手ごたえを感じた

③ あなたはどの立ち位置でそれを見たのか

55周年の会長として発案、実施を行った

概要

北朝鮮の核、ミサイル開発の暴走を受けて、最も手を繋がないといけない日本と韓国の仲の悪さ・・・というか、双方の国民感情の悪さを見るにつけ、やはり、小さいころからの教育によるイメージ作りの影響の大きさを痛感したことから本事業を発案しました。

本事業を通じて私が感じたもの・・・それは、我がクラブメンバーの思いやりの暖かさでした。自分の考えや主義主張とは違うところもあったかも知れませんが、プログラムを作成し遂行する際の協力体制、そして実施期間中の台風18号災害による緊急時の心遣い、行動力、その上に輝く笑顔を見せてくれた現地の子供たち。当然、私一人でできることではなく、その時力を貸していただいた皆様の力だけでなく、過去の歴史の中でそのつながりを作っていた先輩諸氏の想いから繋がる壮大な流れではないかと感謝いたします。

伝承したいこと

2014～2015年 CN51 会長L廣田晃一年度に幹事をさせていただきました。

これは運営面の事になりますが、

当時会長方針のひとつに「100%実出席例会を成功させよう」があり、役員並びに担当委員会メンバーで理事会、各例会、委員会などでみなさんにお声がけ、PRをしていきました。50周年という節目のあとでしたので若干の一服感？があるかもなと思いきや、まずは9月第2通常例会で達成し、次は対外的にもアピールしようと4月第2CN例会に2回目を達成出来たのを記憶しております。

諸先輩方々がよくおっしゃられる「姫路中央ライオンズクラブは決めたらみんなでやるんや！」クラブメンバーの団結力を感じた瞬間でした。

現在はコロナ渦でもうしばらくの間大変な時期ですが、アフターコロナでは例会の出席、事業への参加、委員会活動、同好会、懇親会への参加などお声がけをしあい、出席、参加率をUPし、より一層メンバー皆さんが友愛と相互理解を深め、これからも今以上により強力な結束をはかれるよう伝えたいです。



結成58周年

あ と が き

2回の委員会を経て、結成58で華々しく来賓の皆様にも本特別委員会の主旨をご披露した直後から新型コロナ感染まん延による通称「まん防」が発令され、合間を縫って第3回目の委員会を開催し、以後なかなか集まらないことを想定した進め方を策定し、予定通り何とかCN58でご披露できるところまで漕ぎつけました。

ひとえに、委員会メンバー各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。当初は各会長年度に行った事業に対する思い入れを中心とした内容になるかと思いきや、もっと大きく俯瞰的なクラブの特徴についての伝承項目がたくさん寄せられ、今回の冊子につきましては誤字・脱字を修正しただけの「生」のご意見をそのまま掲載し、寄稿者名は敢えて記載しない（内容を読めばわかりますが）形式としました。

本伝承特別委員会報告冊子はある意味スタートラインです。クラブ設立当初からのすべてのメンバーの想いを網羅できたわけではありませんし、もしかしたら記述内容には思い込みを含めた間違いもあるかと思います。ここをベースに加筆・修正を加え成長させ、我が姫路中央ライオンズクラブの背骨とし、池本会長の願う「地に足の着いた改革」を目指していただきたいと思います。

姫路中央ライオンズクラブ
伝承特別委員会 副委員長 本庄 正人